市政に関する一般質問

今定例会では、２５名の議員が一般質問を行いました。

一般質問の表題

会派名　議員氏名　質問の順番

問　（質問の要約）

答　答弁者※

質問　通告事項の要約

（答弁の要約）

※印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

会議録の閲覧

【今定例会の会議録】
図書館等、議会ホームページで８月下旬頃から閲覧できます。

【閲覧場所】
図書館／市民センター／議会事務局／情報公開窓口（東庁舎）

無所属　小林　薫　1

山車修繕基金設立

問　山車保有町内の中でも負担額にかなりの違いがあるので山車修繕基金を設立することが望ましいと思うが、検討したのか。

答　市長　川越まつり協賛会では、川越まつりに参加する山車町内の補助金の基準などについて検討する川越まつり補助金検討委員会を設置している。修繕基金は、同委員会において検討すべきことであるが、低迷する経済状況を鑑み、昨年度、川越まつりに参加する山車の補助金を５％削減する答申を川越まつり協賛会に対して行った。厳しい財政状況が続く本市においては修繕基金の設置について、同委員会における審議に至るまでの検討ができなかった。

質問　山車修繕基金設立

質問　市長の政治姿勢

民進党　片野　広隆　2

命を大切にする教育の充実

問　新たに改正された自殺対策基本法では、学校に在籍する児童生徒へ共に尊重し合い、心の健康を保持する教育を求めているが、市教委の取組は。

答　学校教育部長　小中学校においては、道徳や総合的な学習の時間等を通して、市立高校では人権教育の一環として、命を大切にする教育を発達段階や実態に応じて行っている。

今後も、学校でどのような自殺予防教育がふさわしいか、埼玉県教育委員会の動向を注視しつつ、命を大切にする教育の充実を図るとともに、保護者や関係機関と連携しながら、児童生徒の悩みなどの早期発見・早期対応に努めていく。

質問　自殺予防対策

質問　公選法改正への対応

やまぶき会　小高　浩行　3

業務継続計画の早期策定を

問　災害時の市の業務継続計画の早期策定に向けて、今後の具体的なスケジュールをどのように考えているのか。

答　危機管理監　業務継続計画の策定にあたっては、災害時には、通常業務を積極的に休止し、災害応急対策業務に限られた資源を集中させる必要があることから、災害時に行う業務の優先順位付けを全課に照会する必要がある。また災害時に、人、物、情報等の資源が制約を受けた場合でも、業務を的確に行うための対策を、庁内で事前に検討する必要がある。今後については、これら一連の全庁的な検討を踏まえ、今年度中に業務継続計画を策定したいと考えている。

質問　地震と業務継続計画

質問　水辺と緑と健康増進

自由民主党　三浦　邦彦　4

避難シミュレーション計画

問　川越市は、市民の生命と財産を守るために、コンピュータシミュレーションによる避難対策が必要だと思うが、市の考えは。

答　市長※　災害時に、適切な避難対策をシミュレーションすることができるようなシステムは、実際の災害状況に応じた対策の一つと考えている。

しかし、このようなシステムの詳細については、他市の事例や有効性等について、まず確認していく必要があると考えている。

質問　災害発生時の避難対策

自由民主党　吉野　郁恵　5

まちづくり生かす川越百景

問　地域全体の活性化に繋げる川越百景などの地域資源の活用について、市の考え方を伺う。

答　都市計画部長　各地域で高齢化が進むとともに、地域コミュニティ機能が低下している中、地域において景観まちづくりを進めていくことは、地域全体の活性化にとって有効な取り組みとなる。

今回のモデルツアーのように、多くの方に訪れてもらうことで、地域の方が自分の地域における景観資源や魅力を再認識し、誇れる材料として大切に生かしていくことが、今後重要になっていくと考えている。

市としても、地域の方が行う景観まちづくり活動のきっかけづくりを引き続き進めていきたい。

質問　川越百景まちづくり